

岸和田保健所運営協議会開催結果報告書

令和6年度 第1回	日時	令和6年7月22日(月) 午後2時～午後3時20分	出席者	委員	20名	協議 会 名 義 員	会長	永野 耕平
	場所	岸和田市立浪切ホール1階多目的ホール		職員	17名		副会長	酒井 了
傍聴者			0名	副会長	浦田 尚巳			
議 事	議事の要点		委員の意見	保健所の回答			付記	
保健所事業の概要について	1. 企画調整業務について 2. 衛生課業務について 3. 地域保健課業務について		・コロナ前と最近の近況とを比べて、コロナを経て人々の暮らしも変わり、保健衛生を取り巻く状況も変わったが保健所としてコロナを経て変化を感じることはあるか。	・住民の方々の感染症に対する意識が変わった。一方、個人の意識の差も大きいため、そのあたりをどのように進めていくかということが大事になる。医療機関においても院内感染対策というのめかなり高くなってきているのでこれを契機に進めていきたい。				
災害時の保健医療活動について	災害時に地域の人命を守るために		・災害時の薬局開設状況の把握について、薬事の所管は泉佐野保健所だが、岸和田保健所へも情報は必要か。	・薬事の所管は泉佐野保健所だが、災害時に被災地への応援に行った者からの話によると保健所単位、市町村単位といった集約が求められとのことなので、ここでは断言できないがこれからの課題と認識している。				
			・災害訓練について、訓練の参加はどのあたりの団体が参加されているのか。	・昨年度は、岸和田市、貝塚市にも参加いただいた。今後徐々に機関を増やしていければと考えている。				
			・発災時の参集について、医師も居住地と勤務地が離れている方が多くなってきている中、保健所も同様のことが言えるのではないか。そういった場合に発災時の体制は確保できるのか。居住地近くの保健所へ参集するということとはできないのか。	・今ご指摘いただいたことは、まさに実施しているところ。年度初めの調査で参集する保健所を登録し、発災時の交通機関途絶時には登録された保健所へ参集することになっている。				
			・保健所の建物がかなり古いが耐震性は大丈夫か。	・岸和田保健所の建物は昭和45年前後の建物でありかなり古い。府保健所で一番古い池田保健所が今度建て替えをする予定である。岸和田保健所はその次に古いため、一番古い保健所となる。すぐに建て替えということにはならないと思われるが、拠点となる保健所が地震で倒れることのないように耐震補強や建て替えの検討を進めたい。				
			・薬剤師、医師等は2年に一回保健所へ登録している。保健所では岸和田市、貝塚市へ在住している薬剤師や医師の把握もできるのでその情報を活用する必要が出てくるのでは。	・勤務場所と住居地が違う専門職の方が増えている中、今後は近隣に住む方の協力が必要になってくる。いわゆる国の3師調査などそのあたりのデータもみながらうまく活用できるように研究していきたい。				
その他			・新型コロナウイルス感染症が蔓延している。今大阪府の定点はどれくらいか。また増加具合はどうか。第11波がきているということの認識を持っていただきたい。	・先週、府全体で10弱となり、増加傾向にある。				